中建日報
発行所
中建日報社
広島市中区十日市町2丁目1番8号
〒730-0805 TEL (082) 297-7111㈹
FAX (082) 297-7112
http://chuken-news.com/
E-mail:info@chuken-news.com
購読料 1ヶ月 8,950円

清水JVで21日に着工

中間免震採用の新本店ビル

島根銀行

島根銀行（山根良夫頭取）は、松江市朝日町に新本店ビルの建設を計画している。施工は、清水建設を代表企業とする7社JVが担当。21日に建設地で起工式を開催する。完成は28年9月を予定。工事発注金額は約58億円で、近日中に契約を交わす。このほか、別途発注工事（金庫室など）として約5億円を見込んでいる。

既存の本店は、築後50年が経過。安全性確保や業務継続性の観点から、耐震及び防災機能強化が求められている。また、オフィススペースの狭隘化や本部機能の集約化といった課題を解決し、効率的な業務運営体制の構築や来客者の利便性を向上させるために本店ビルを建替えすることを決めた。

建設地は現松江駅前支店ビルの東隣の松江市朝日町字伊勢宮484－19ほか（敷地面積2406・79㎡）。本店営業部や松江駅前支店なども集約させる新本店ビルは、S造（一部SRC造）地下1階地上13階（約66m）塔屋1階建延べ1万2106・60㎡の規模で、中間階免震構造を採用する。

建設にあたっては、国土交通省が実施する「住宅・建築物省CO2先導事業」として採択され、補助金の交付を受ける予定でいる。具体的な取り組みとしては、立地特性に配慮した外皮計画（外壁ルーバー）、執務者の快適性と省エネ性を両立する空調（天井面輻射併用空調）、照明計画（ブラインド制御、見え方を考慮した照明制御）など、バランスの良いCO2技術を導入。また、非常時には帰宅困難者の受け入れや灯りと情報を絶やさない駅前の情報発信拠点となることも意図しており、地方都市のリーディングプロジェクトとして評価されている。

新本店ビルは28年9月の完成をめざす。本店営業部・松江駅前支店の移転オープンは同年11月を予定。来客用駐車場は29年4月に完成させるスケジュールとなっている。

なお、設計・監理は石本建築事務所が担当。施工は清水建設を代表企業に、松江土建、カナツ技建工業、豊洋、中筋組、今井産業、大松建設を構成員とする7社JVが担当する。

※金額はいずれも税別


新本店ビルの完成イメージ

申請書受付は25日まで

枠組み協定型一括入札方式

新幹線口ペデ上部工ほか3件

UR西日本

独立行政法人都市再生機構（UR）西日本支社は6日、詳細条件審査型一般競争入札（総合評価落札方式）で「26－広島二葉の里地区新幹線口中央ペデストリアンデッキ外上部工その他工事他3件」（広島市南区松原1丁目他）を公告する。複数の工事を一括で入札する「枠組み協定型一括入札方式」を試行し、電子入札システムで申請書及び資料は11月25日まで受け付ける。入札書は27年1月22・23日に提出、開札は27年2月26日に行う。

入札については、当初工事と契約予定工事（3件）の一括競争入札して落札者を決定し、各工事に関する協定締結後に、工事請負契約を締結する仕組み。また、施工体制確認型総合評価落札方式及び契約後VE方式の試行工事でもあり、総合評価の加点は技術評価点を最高40点、施工体制等評価点を最高30点としている。配置予定技術者のヒアリングは12月1・2日を予定している。

主な参加資格は、UR関西地区の一般競争参加資格で工種が「土木A等級」「その他」の認定を受けている単体もしくは、「土木A等級」「その他」のそれぞれの認定を受けている者の2社組み合わせによる特定JV。平成16年度以降に元請として施工を完了した、①既成市街地における鋼構造の橋梁上部工工事で、幅員4m以上の工事②既成市街地における基礎工（場所打ち杭工で杭長10m以上）の工事－の施工実績を有すること（JVの構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る）など。ただし、単体は①②の両方、特定JVは2社あわせて①②の両方の施工実績を有すること。特定JVの申請は11月19日まで。

申請書等の提出場所は総務部契約チーム（電話06－6969－9970）。

個別工事の内容は次の通り。

＝当初工事＝

「26－広島二葉の里地区新幹線口中央ペデストリアンデッキ外上部工その他」

工事内容＝下部工、基礎杭（現場打ち）φ2・0～2・5m、L27・0～27・5m、3本、鋼製桁・階段架設412t、W4～9m、L211m

工期＝27年2月～3月31日（28年9月30日まで延伸予定）

契約時期＝27年2月

＝契約予定工事1＝

「27－広島二葉の里地区新幹線口東西ペデストリアンデッキ設備その他」

工事内容＝屋根工、ハニカムパネル301㎡、膜屋根378㎡、床タイル工、磁器質292×292×18、521㎡

工期＝27年4月～28年2月28日

契約時期＝27年4月

＝契約予定工事2＝

「27－広島二葉の里地区新幹線口中央ペデストリアンデッキ設備その他」

工事内容＝屋根工、ハニカムパネル988㎡、膜屋根378㎡、床タイル工、磁器質292×292×18、1140㎡

工期＝27年4月～28年2月28日

契約時期＝27年4月

＝契約予定工事3＝

「27－広島二葉の里地区新幹線口中央ペデストリアンデッキEV」

工事内容＝機械設備工、エレベーター3基

工期＝27年4月～28年2月28日

契約時期＝27年4月

西松と大成JVに決定

立体駐車場新設の建築2件

中四国防衛

中国四国防衛局は4日、WTO対象（入札ボンド）となる一般競争入札で開札した「岩国飛行場（H26）立体駐車場（A）（下士官宿舎）新設建築その他工事」と「岩国飛行場（H26）立体駐車場（学校）新設建築その他工事」の落札者を、それぞれ西松建設（落札金額16億6800万円）と大成建設・大島組特定JV（同13億6000万円）に決定した。いずれも近日中に契約を交わす予定でいる。

2工事とも10月29日に開札。最大得点70点を加算する施工体制確認型総合評価方式を試行し、設計・施工一括発注方式を採用していた。

「岩国飛行場（H26）立体駐車場（A）（下士官宿舎）新設建築その他工事」には、落札した西松建設のほかに、大豊建設（入札金額18億6380万円、予定価格超過）、奥村組・岩田地崎建設特定JV（16億8000万円、評価値10・119）、鉄建建設（19億2500万円、予定価格超過）、ピーエス三菱（無効）、大林組（辞退）、熊谷組（17億6000万円、評価値9・659）、NIPPO（18億2400万円、評価値8・991）が参加。西松建設は、総合評価方式で加算点満点となる70点を獲得し、評価値10・191で落札に至った。

「岩国飛行場（H26）立体駐車場（学校）新設建築その他工事」は、大成建設・大島組特定JV以外に西松建設（無効）、錢高組（入札金額14億3300万円、評価値11・653）、NIPPO（無効）が応札。落札した大成建設・大島組特定JVは、総合評価方式で満点となる70点が加算され、評価値は12・5を獲得していた。

（詳細な工事概要等は6面入札結果欄に掲載※金額はいずれも税別）

5者程度絞り2次審査

府中市「道の駅」の設計プロポ

【福山】府中市は、公募型プロポーザルで設計者を募っている「（仮称）道の駅に係る基本設計及び実施設計業務」について、2次審査へ進む5者程度を選定した。ヒアリングは今月下旬の開催を予定するが、場所・日時は非公表。市では12月上旬にも最優秀提案者を特定する。

同業務は9月19日に公告。今月5日までに書類による1次審査を通過した5者程度に対し、技術提案書等の提出を要請するとともに、ヒアリングの実施日を通知した。技術提案書等の提出期限は今月18日まで。審査は選定委員会（岡辺重雄委員長・福山市立大学准教授）が行っており、特定までの過程はすべて非公表となっている。

府川町地内の国道486号沿いに整備する「（仮称）道の駅」（敷地面積約5250㎡）は平成28年度中の開業を予定。天満屋など周辺の既存商業施設との連携により人の集まる拠点を形成させる一方で、周辺で整備予定の広場や歩行者道路と合わせ賑わい拠点を創出し、JR府中駅周辺の中心市街地活性化を図る。

基本・実施設計では3機能（休憩、情報交流、地域連携）等を備えた駅舎をデザイン。施設規模はS造またはW造延べ約720㎡を想定し、建築・設備を含む設計ほか、敷地内における外構計画をまとめる。履行期限は来年8月31日まで。3月27日までに基本設計、6月26日までに実施設計、8月20日までに確認申請手続きを行う見通し。公告時に公表されている予定価格は1890万円（税抜）。

なお、設計前段階での事業費は2億2680万円（消費税率8%換算）以内を見込んでおり、工期は6カ月間を予定している。

中建日報社 ホームページ http://chuken-news.com

東広島市 最低制限価格など質問

26年度第2回入札監視委

【呉】東広島市は、8月に開催した26年度第2回入札監視委員会の会議概要を公開した。会議には5委員が出席したほか、市側から総務部技術調整監をはじめ担当課長が出席した。事務局から入札方式別発注工事の状況と指名除外措置の状況を説明した。また、検証対象工事として5件を抽出し、入札参加資格要件、工事概要を事務局と施工担当と契約手続きに関する運用状況が報告され、入札課から説明し、検証した。

入札に関しては、委員から建築関係での入札参加者数が少ない理由を質問。これに対し事務局は、特に小中学校の耐震補強は時期が集中することや、技術者の不足が大きな要因となっていると応え、落札率は予定価格に近い90%台後半であると説明した。

今回の検証対象工事は、（25年度）下見中郷道路舗装工事、清武地域センター耐震補強・改修工事（電気）、向陽中学校校舎増築工事（建築）、白市地区汚水管渠建設工事（白26－1）、乃美尾兼広道路改良工事の5件。委員からは予定価格や最低制限価格などで質問があった。質疑応答については市ホームページで公開している。

次回の第3回委員会は11月を予定する。

休山トンネルの掘削残土

民間受入地を追加募集

＝広島国道事務所＝

広島国道事務所は、一般国道185号休山新道の4車線化に伴うトンネル新設工事に関連し、トンネル掘削残土を埋立や盛土等に利用する民間事業者の募集（第2回）を開始した。12月19日まで受け付ける。

同事務所では今年6月から、1カ所あたり500㎡程度を超える受入が可能な事業者を対象に受入先を募集していたが、受入希望時期や受入量などの条件が合致せず、受入先が不足している状況という。

追加募集となる今回は、埋立土量の要件を1カ所あたり「2500㎡程度を超えるもの」に緩和。平成27年1月から29年3月の間に土地造成等を予定している者で、休山トンネルからの運搬距離が50km以内であれば応募できる。

なお、運搬は同事務所が無料で行うが、大型ダンプトラック（10t）での土砂搬入ができることや、埋立の手続きがすでに完了、もしくは27年1月までに完了見込みであることも要件として定めている。

応募方法は、申し込み用紙を郵送または持参で提出するとしており、用紙はHPなどからダウンロードできる。問い合わせ等は同事務所工務課（広島市南区東雲2－13－28、電話082－281－4176）まで。

意見交換会

認定工場への指定発注を

全構協中国支部と中国整備局

（一社）全国鐵構工業協会中国支部（杉原由太郎支部長）と中国地方整備局との意見交換会が4日、広島市中区の同局建政部庁舎で開催された。協会は、一次下請として国土交通省大臣認定工場資格を有する鉄骨工事業者へ指定発注することや、建設業許可業種区分における鉄骨工事業の分離独立を要望。また、材料費が高い業界であることから、前払金の支払い徹底などにも理解を求めた。

意見交換会には、協会から杉原支部長、山本泰徳㈱広島県鉄構工業会理事長、高橋伸和㈱島根県鐵構工業会理事長、福田秀章㈱鳥取県鉄構工業会理事長ら8名が出席。局からは田中徹建政部長をはじめ、営繕部の田中正晴整備課長、企画部の赤星剛技術管理課長補佐など8名が出席した。

冒頭、挨拶に立った田中建政部長は、将来の担い手不足に危機感を示し、改正品確法をはじめとする担い手3法や社会保険未加入対策などにふれながら、今後の施策推進に理解と協力を求めた。

これを受け、杉原支部長は挨拶で「我われ業界もこれからの担い手について、随分と頭を悩ませている。だが、これは経営基盤の確立や、経営の安定化がしっかりしてからはじめてなされるものだ」と述べ、直面している厳しい窮状などを訴えた。

意見交換の場で、協会は「自社製作工場を有しない不適切な流通業者への発注や、「鉄骨業者として必要な大臣認定工場資格を有しない鉄骨加工業者への発注」が横行している現状を指摘。ダンピングの助長や現場でのトラブル原因につながるとし、1次下請として国土交通省大臣認定工場資格を持つ鉄骨工事業者への指定発注を要望した。これに対して局は「適正な施工を確保するため、引き続き施工体制の把握などに努めていく」と回答した。

また、協会は建設業許可業種区分における鉄骨工事業の独立を要望。局は「時代に見合った形で、分離する必要性をまとめ、全国の声としてあげてもらいたい」と応じた。このほか、協会は「我われは材料費が高い業界。その分、持ち出しも多く、リスクも大きい」と強調し、前払金の支払い徹底などにも配慮を求めた。


意見交換のもよう

瀬戸内メガソーラー31年稼働へ

合同会社があす起工式

【岡山】くにうみアセットマネジメント、東洋エンジニアリング、GEエナジー・フィナンシャルサービスが出資する特別目的会社（SPC）「瀬戸内Kirei未来創り合同会社」は、岡山県瀬戸内市錦海塩田跡地に日本国内最大級となる「瀬戸内メガソーラープロジェクト」の建設を計画しており、あす7日に起工式典やレセプションなどを開催する。

メガソーラー施設と、その関連施設の建設及び堤防補強工事は東洋エンジニアリングと清水建設が施工を担当。総事業費は約1100億円を見込み、メガソーラーの運転開始は平成31年の第2四半期をめざしている。また、運転開始後は中電工が中心となって発電設備の運転・メンテナンスを行う予定だ。

メガソーラーの発電出力は231・44MW。日本国内最大級の発電出力となり、発電した電力は再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、中国電力が購入する。

メガソーラープロジェクトは、24年7月に瀬戸内市が実施した錦海塩田跡地活用の公募提案競技に対して、くにうみアセットマネジメントを代表企業とする「瀬戸内Kirei未来創り連合体」の提案が、メガソーラー発電事業を起爆剤として市内全域への波及効果が期待できる提案として選定されたもの。メガソーラー事業以外にも地域の安全安心、地域の活性化、環境の保全といった地域事情に配慮されたプロジェクトとなっている。

あす7日には、瀬戸内市牛窓町の牛窓オリーブ園で起工式典、牛窓リゾートホテル・リマーニでレセプション等が開催される。起工式典では、くにうみアセットマネジメントの山﨑養世社長兼CEOをはじめ、東洋エンジニアリングの総山誠会長、清水建設の池田耕二広島支店長らが鍬入れを行う。

次世代技術者のための講演会

28日に広島市で開催

建築設備技術者協会中四国支部

（一社）建築設備技術者協会中国・四国支部（佐藤大三支部長）は11月28日、午後2時から5時まで、広島市中区の市文化交流会館で第2回「次世代技術者のための講演会」（～活躍されている若者技術者たち～）を開催する。

講演会は、昨年の「活躍されている女性技術者」に続いて開かれるもので、内容は設備業界で働く若手技術者の仕事のやりがいや成果について語り合い、企業PRと併せて技術的な交流が図られる。

入場無料。定員120人。講演後の懇親会は5000円。

講演内容は次の通り。（敬称略）

▽「（仮）トイレ節水化の歩み」＝LIXIL（神崎雄介）

▽「丸いこころでつなげる　わたしの建設業」＝中電工（苗井洋子）

▽「働くということ」＝大方工業所（岡野亜沙美）

▽「若手技術者の皆様へのお願い」＝東芝ライテック（田邊秀則）

▽「ゼネコンの設備設計者の仕事について」＝竹中工務店（藏本誠）

▽「仕事のやりがいと成果」＝遠藤照明（丸山悠）

▽「丸いこころでつなげる　わたしの建設業」＝中電工（苗井洋子）

▽「働くということ」＝大方工業所（岡野亜沙美）

▽「若手技術者の皆様へのお願い」＝東芝ライテック（田邊秀則）

▽「ゼネコンの設備設計者の仕事について」＝竹中工務店（藏本誠）

▽「仕事のやりがいと成果」＝遠藤照明（丸山悠）

特集

（一社）日本建築構造技術者協会 中国支部が〝法人化25周年〟（3面）

NTTファシリに委託

国際学生シェアハウス新営の設計

岡山大学ロポプ

岡山大学は、5者が技術提案した簡易公募型プロポーザル方式（拡大）の「岡山大学国際学生シェアハウス新営設計業務」で、NTTファシリティーズを最優秀提案者に特定し、1600万円（税抜）で業務を委託した。業務の履行期限は平成27年1月30日までを見込む。

業務内容は、津島キャンパス内（岡山市北区津島桑の木町6－2）に整備する国際学生シェアハウスの新築に向けた実施設計業務（建築・設備）で、建物はRC造地上5階建延べ2200㎡（建築面積440㎡程度を想定している。

国際学生シェアハウス（混住型）は、国際化・グローバル化推進強化策として、日本人学生と外国人留学生との日常生活レベルでの交流機会の場を提供し、グローバルに活躍する地域の中核的人材を育成する拠点施設を目指す。当初計画では、施設には8人部屋5室と4人部屋20室の計25室を備え、居室は4・5～6畳程度の広さを確保。各部屋にはインターネット回線やベッド、椅子机など設けるほか、ユニットバス、洋式トイレ、洗面化粧台などをまとめた共用室も設置する。外観については、建設予定地北側の留学生宿泊棟、女子学生寮を含めた周辺景観との調和を図る計画。工事は27年4月の着工、12月の完成を目指している。